

大学コンソーシアムひょうご神戸  
2025年度 第1回 国際交流委員会 議事次第

日時：2025年4月30日(水) 10:00~11:00 開催

開催場所：兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station

委員校：兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、  
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、  
神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、  
神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、  
流通科学大学 (計26校)

### I. 報告事項

1. 2025年度国際交流委員会委員校について (資料1)  
各委員校の国際交流事業の状況、取り組み事例等の共有 (自己紹介も兼ねて)
2. 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム (2025年兵庫県開催) について (資料2)
3. BOSAI コミュニケーションカード開発企画進捗について (資料3)
4. 四機関連携協定 (大学コンソーシアムひょうご神戸、JICA 関西、HIA (兵庫国際交流協会)、  
JETRO 神戸 (日本貿易振興機構)) について (資料4)

### II. 協議事項

1. 2025年度国際交流委員会事業計画 (案) について (資料5)  
①兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業について  
②学生海外派遣プログラムについて (神戸常盤大学・兵庫大学)

### III. 懇談事項

「2025年ミャンマーの地震」への支援について

### IV. 連絡・調整事項

1. 2025年度の国際交流委員会開催日程  
第2回委員会 9月：2025年度 タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価 (案)  
第3回委員会 12月：2025年度 自己評価 (案)  
第4回委員会 2月：2025年度 事業計画・予算案 (案)  
第5回委員会 3月：2025年度 事業報告・決算 (案)
2. その他情報提供

以上

#### <資料一覧>

- 【報告1】(資料1-1) 2025年度 国際交流委員会名簿
- 【報告1(参考)】(資料1-2) 事業委員会の運営に関する申し合わせ
- 【報告2】(資料2) 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム (2025年兵庫県開催) について
- 【報告3】(資料3) BOSAI コミュニケーションカード チラシ
- 【報告4】(資料4-1) 2024年度三機関連携協定報告書、2025年度四機関連携協定事業計画
- 【報告4】(資料4-2) 2025年度四機関が連携可能な事業一覧
- 【協議1】(資料5-1) 2025年度 国際交流委員会事業計画 (案)
- 【協議1(参考)】(資料5-2) 2025年度 国際交流委員会事業予算
- (参考資料) 2024年度第5回国際交流委員会メール審議結果

## 【2025年度 第1回 国際交流委員会出席者名簿】

委員長校:兵庫県立大学

副委員長校:神戸市外国語大学

青色が参加大学・参加者です

連番		法人名	学校名	所属	役職	委員	所属	役職	委員(事務)	委員以外出席者所属	役職	氏名
1		兵庫県立大学法人	兵庫県立大学	国際商経学部	教授	横山 由紀子	教育企画部国際交流推進課	課長	八木 美香子	(陪席)教育企画部国際交流推進課	主任	中山 太郎
2		神戸市公立大学法人	神戸市外国語大学	国際交流センター	国際交流センター長	中嶋 圭介	国際交流センター	係長	壽谷 理恵			
3		独立行政法人 国立高等専門学校機構	明石工業高等専門学校	グローバルエデュケーションセンター	グローバルエデュケーションセンター長	水野 裕貴	総務課総務・人事チーム	係員	岸元 嘉親			
4		学校法人 芦屋学園	芦屋大学	国際交流課	准教授	山片 崇嗣	国際交流課	職員	田口 真理子			
5	6	学校法人 大手前学園	大手前大学・大手前短期大学	経営学部	教授	黄 磷	国際交流留学生センター	課長	奥田 明美			
7		学校法人 濱名山手学院	関西国際大学	グローバル学科	教授	佐藤 恭仁彦	国際部国際交流課	課長	久保田 裕美	(代理)国際部	課長	戸梶 直浩
8		学校法人 関西金光学園	関西福祉大学	教育学部保健教育学科	准教授	市橋 真奈美	学生支援課	課長	高橋 琴代			
9	10	学校法人 関西学院	関西学院大学・関西学院大学短期大学	国際連携機構	機構長補佐 国際学部教授	長谷 尚弥	国際連携機構事務部	次長	鳥山 直子			
11		学校法人 甲南学園	甲南大学	国際交流センター	副所長	中川 真太郎	国際交流センター	課長	小幡 真史			
12		学校法人 甲南女子学園	甲南女子大学	対外協力センター	対外協力センター長	岩崎 佳孝	対外協力センター国際交流課	国際交流課長	松井 小枝子			
13		国立大学法人 神戸大学	神戸大学	大学教育推進機構グローバル教育センター	教授	河合 成雄	学務部国際交流課	課長	木村 みどり			
14		学校法人 海星女子学院	神戸海星女子学院大学	英語観光学科	講師	佐伯 瑠璃子	教学課		内山 まい			
15		学校法人 神戸学院	神戸学院大学	国際交流センター	所長	岡部 芳彦	国際交流センター	事務部長	影本 由美子			
16		学校法人 八代学院	神戸国際大学	学生支援センター(国際交流・国際別科担当)	国際交流センター長	北 邦弘	学生支援センター(国際交流・国際別科担当)	室長	林 昌平			
17		公立大学法人神戸市看護大学	神戸市看護大学	看護学部	教授	神原 咲子	教務学生課	担当事務職員	村上 小百合			
18		学校法人 松蔭学院	神戸松蔭学院大学	国際交流センター	所長	古川 典代	学生課兼国際交流課		高木 るい			
19		学校法人 神戸女学院	神戸女学院大学	国際交流センター	課長	高地 雅之						
20		学校法人 親和学園	神戸親和大学	国際・留学センター	センター長	新藤 照夫	国際・留学センター事務室	課長	関根 慎二			
21		学校法人 玉田学園	神戸常盤大学	国際交流センター	センター長	鈴木 高史	国際交流センター	事務総括	青木 弥生			
22		学校法人 園田学園	園田学園大学	国際交流課	国際交流委員長	大牛 英則	国際交流課	課長	安川 雅信			
23	24	学校法人 睦学園	兵庫大学・兵庫大学短期大学部	留学・国際交流センター事務室	課長代行	上田 泰雅						
25		兵庫県立大学法人	芸術文化観光専門職大学	芸術文化観光学部	教授	塩川 太郎	教育企画部学務課	国際交流コーディネーター	マコメ 佳奈子			
26		学校法人 中内学園	流通科学大学	商学部	准教授	辻 周吾	留学生支援部		上田 徹			

## 事務局

	部署	役職	氏名
大学コンソーシアムひょうご神戸	国際交流・キャリアチーム	次長	鈴木 真紀子
	国際交流・キャリアチーム	サブリーダー	慈 麻衣子
	国際交流・キャリアチーム	事務局員	玉置 桜

加盟校26校中15校(57.69%)18名

陪席1名

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則 2 名(教員 1 名、職員 1 名)。
- (2) 毎年度、第 1 回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1 大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

## 【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間（2023年度～2025年度）とする。
- ③2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

## 4. 事業委員会の任務

- (1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

## 5. 事業委員会の招集・議事

- (1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

## 6. 成立要件(定足数)

- (1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3) 「委任状」の制度は用いない。
- (4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

## 7. 議決権及び議決数

- (1) 正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

## 8. プログラム担当校

- (1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

## 9. 事業委員会事務局

- (1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

## 10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022年4月1日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から施行する。

以上

# 第22回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催について

## 1. 実施概要

開催日：2025年8月30日（土）・31日（日）

会場：神戸学院大学 ポートアイランド第1キャンパス

共催：全国大学コンソーシアム協議会、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

協力：神戸学院大学（会場校）

後援：文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、一般社団法人日本私立大学連盟、日本私立大学協会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会、全国知事会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、一般社団法人共同通信社、兵庫県、神戸市、神戸新聞社  
(予定)

テーマ：「激変する将来社会を切り拓く新たな人材の育成にむけて

～不易流行で考える大学間連携と産官学協働～

大会趣旨：

文部科学省が中央教育審議会に諮問している「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」にもあるよう、現在高等教育は大きな転換点を迎えている。「少子化」「デジタル化」といった外部的要因や、「問題発見・課題解決的な学習活動の充実」に代表される高校生の学びの変化など、今すぐに対応が必要となっている。

また、高等教育機関には文理横断・文理融合教育の推進や多様性と流動性を高めるためのリカレント教育を実施することで、未来社会を創出し、牽引する高度専門人材を育成することも求められている。「地域の中核となる高等教育機関へ」と成長・発展するためには、他の高等教育機関はもちろんのこと地方公共団体や産業界など、地域の様々なステークホルダーと一体となった産官学での取り組みを進めていくことが必要不可欠である。

その様な環境下で大学をはじめとした高等教育機関は、「不易流行（いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。）」の考えの下、変えてはいけない点と時代に合わせて変化していく点を、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を視野に入れて見極めることが重要になってきている。

例えば大学コンソーシアムひょうご神戸においては長年留学生インターンシップを実施しているが、継続していく中で「変化していないこと」「変化したこと」の両方が混在している。

そこで今回のフォーラムは、大学間連携組織である大学コンソーシアムでの取組において、改めて活動の本質を考え、そのうえで最新の取組について知見を得ることができる場としたい。

## 2. プログラムスケジュールについて

○1日目：2025年8月30日（土）

13:00-13:15	開会挨拶	12:00- ポスター セッション・ パネル展示
13:15-13:25	学生ステージ A	
13:30-15:10	シンポジウム①話題提供：20分×5人	
15:10-16:30	休憩 ★コアタイム	
16:30-16:40	学生ステージ B	
16:45-17:30	シンポジウム②ディスカッション	
17:30-17:45	閉会挨拶	
18:00-19:30	情報交換会	

- ※午前中には、加盟校の教職員、企業を対象とするプログラム（例：「SD ワークショップ」「キャリア教職員×企業人事情報交換会」「リカレント教職員×企業人事情報交換会」等）を開催
- ※ポスターセッションでは、全国大学コンソーシアム協議会加盟組織（正会員 44 団体）のうち、毎年 10 団体程度がポスター展示（資料 8-2）
- ※パネル展示では、「兵庫から発信する大学間連携や産官学連携」をコンセプトに、「大学間連携」「産官学連携」「震災 30 年、阪神・淡路大震災の教訓をつなぐ大学・学生の活動」の分野から加盟校から展示
- ※学生ステージ A・B は、流通科学大学と芦屋大学の外国人留学生、「若者による『震災の教訓を繋ぐプロジェクト』」等で調整

○2 日目：2025 年 8 月 31 日（日）【全国大学コンソーシアム協議会にて 5 月に審議・承認予定】

10:00～12:00 分科会

- ① 産官学オール京都での留学生誘致の推進～留学生スタディ京都ネットワークの活動～  
大学コンソーシアム京都
- ② 共創で描くりカレント教育の未来—共に学び・共に地域を創る場をどのようにして構築するか—  
高等教育コンソーシアム宮崎
- ③ 【TKK3 大学連携事業 15 周年企画】阪神・淡路大震災から 30 年（資料 8-3）  
「若者と考える 被災地支援と語り継ぎのチカラ」 大学コンソーシアムひょうご神戸
- ④ 教育ネットワーク中国（予定）

### 3. 参加費・情報交換会費について

- 参加費 （一般）5,000 円 /（学生）無料
- 情報交換会（一般）4,000 円 /（学生）2,000 円

### 4. 開会挨拶・シンポジスト・モデレーター・閉会挨拶について

#### 【開会挨拶】

- ・一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 理事長
- ・兵庫県知事 齋藤 元彦氏（一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 参与）
- ・全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事 小原 克博氏 ※代読  
（公益財団法人大学コンソーシアム京都 理事長、同志社大学 学長）

#### 【シンポジスト・モデレーター】

1. 兵庫県に本社のある企業の経営者（2 名）  
日本テクノロジーソリューション株式会社 代表取締役社長 岡田 耕治氏  
エクスアールジョン株式会社 代表取締役会長、株式会社 ShimaFuji IEM 代表取締役 島藤 真澄氏
2. 大学教員（1 名）  
國學院大學観光まちづくり学部教授、東京大学名誉教授 吉見 俊哉氏
3. 大学職員（1 名）  
関西学院大学 学生活動支援機構 事務部長 本荘 雅章氏
4. モデレーター・コンソ理事（1 名）  
大学コンソーシアムひょうご神戸理事（関西国際大学 学長）濱名 篤氏

#### 【閉会挨拶】

- ・全国大学コンソーシアム協議会 代表幹事 川野 祐二氏  
（一般社団法人教育ネットワーク中国 理事、エリザベト音楽大学 理事長・学長）

## 参加学生 災害時の外国人コミュニケーションツール

募集!

「BOSAIコミュニケーションカード」の  
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

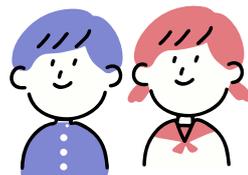
## 日本人学生も留学生も一緒に取り組もう!

近年、日本国内で多発している地震や水害などの自然災害。

2025年1月15日には、南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、いつ起きてもおかしくない状況です。

災害時に、避難情報などを理解できないおそれがある外国人に対する備えとして「防災教育」と「コミュニケーションツール」の開発に参加してみませんか?

阪神・淡路大震災から30年を迎えた兵庫県での当活動では、単にツールを作るだけでなく、フェーズフリーな活用を促し、災害時も外国人が「安心」して情報を得て、適切に行動できる地域づくり・多文化共生社会の実現を目指します。



1 地域と顔を合わせる環境で外国人が防災知識を習得する機会を設けると同時に、災害時のコミュニケーションツール「BOSAIコミュニケーションカード」を開発する。

※Wi-Fi環境がない場所では、スマートフォンにダウンロードされた翻訳アプリは使えません。災害時のお守りとして普及できるものを作ります。

2 「BOSAIコミュニケーションカード」を活用した災害図上訓練を検討する。

※日頃の訓練で使い慣れておくことで、災害時にスムーズに活用することができるように目指します。(フェーズフリーな備え)



活動期間 2025年6月7日(土)～2027年3月末まで

- ①スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。  
※スケジュールに書かれている取り組みについては、交通費支給あり(実費)
- ②全プログラムへの参加が望ましいですが、事情により難しい場合はご相談ください。
- ③2カ年事業ですが、4年次生の学生の参加も受け付けます。

参加費  
無料

応募条件 兵庫県内の大学に所属する学生・留学生

応募締切 2025年5月16日(金)まで

募集人数 20名程度

申込方法 右記 2次元コードからお申込み下さい

主催 大学コンソーシアムひょうご神戸  
神戸学院大学

SCAN ME!



今、参加を迷っているあなた！  
参加しなければ気づけないことがあります。  
学生生活で今しかできない経験するチャンスです！  
ぜひご応募ください。



## 2025年度 スケジュール

災害時の外国人コミュニケーションツール

「BOSAIコミュニケーションカード」の  
開発とフェーズフリーな活用にむけたプロジェクト

キックオフ オンライン MTG	【日時】 2025年6月7日(土) 14:00～15:00 【場所】 オンラインZoom 【テーマ】 顔合わせ・プロジェクトの概要説明
第1回 WS	【日時】 2025年7月6日(日) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 南海トラフ巨大地震について学ぶ
第2回 WS	【日時】 2025年9月13日(土) 9:30～12:30 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 命を守るコミュニケーション・言葉を考える
プロトタイプ お試し会	【日時】 2025年9月20日(土) 10:00～13:00 ※別の機会も検討中です 【場所】 HAT神戸 【テーマ】 地域の防災訓練や防災イベントで体験してもらおう
第3回 WS	【日時】 2026年2月15日(日) 9:30～12:30 ※終日になる可能性あり 【場所】 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション 【テーマ】 改良版を作成しよう



※スケジュールは、連携先との調整により変更になることがあります。

※2026年度については、改良版お試し会、完成品お披露目会、図上訓練の実施など、年4回開催を予定しています。

## Q&A



Q1.防災の知識がなくても参加できますか？

A1.ぜひ参加してください！プロジェクトの活動を通して、一緒に防災を学びましょう。

Q2.授業、就活、部活、バイト等と両立できるか不安です…

A2.大丈夫です。ミーティングに参加できないときは、チームや学生全体で情報共有するなどお互いに助け合いながら活動しましょう！

Q3.語学が得意ではないので不安です…

A3.言語が異なる人のコミュニケーションを取りやすくするためのプロジェクトです。多言語対応は、みんなで力を合わせて取り組むので安心して参加してください。

わからないこと、相談したいことがあれば、お気軽にご連絡ください！



**Recruiting participants**

**A Disaster Communication Tool for Foreign Residents**

# Development of the “BOSAI Communication Card” and Phase-Free Utilization Project



## Japanese & International Students, Let's Work Together!

Japan faces frequent natural disasters, such as earthquakes and floods.

On January 15, 2025 the probability of a massive Nankai Trough earthquake occurring within the next 30 years was raised to approximately 80%, making it a real and imminent risk.

This project aims to develop disaster education and communications tool to help foreign residents understand evacuation information.

Would you like to join us in creating a more inclusive disaster preparedness system?

As we mark the 30th anniversary of the Great Hanshin-Awaji Earthquake, this project promotes phase-free utilization for a safer, multicultural society.



**1 Provide foreigners with disaster preparedness knowledge through community interaction while developing the “BOSAI Communication Card” for disaster communication”.**

※ In disaster situations, Wi-Fi may be unavailable, making translation apps useless. We will develop a physical communication tool that can be carried as a safety measure.

**2 We will explore disaster map training using the “BOSAI Communication Card”.**

※ By practicing regularly, we can ensure smooth use during actual disasters. (Phase-Free Preparedness)



**Activity Period**

**June 7, 2025 (Saturday) – March, 2027**

① Schedule Details: See the back of the flyer

※ Transportation costs will be covered (actual expenses)

② While full participation is ideal, please ask us if you have scheduling conflicts.

③ A two-year project, but we accept participation from fourth-year students

**Requirement**

**Hyogo’s university students (including international students)**

**Deadline**

**May 16, 2025 (Friday)**

**Capacity**

**Approx. 20 participants**

**How to Apply**

**Scan the QR code on the right**



**FREE**

**SCAN ME !**



**Organized**

**The Consortium of Universities in Hyogo  
Kobe Gakuin University**



# Let's make together

The Consortium  
of Universities  
in Hyogo



Thinking About Joining!  
There are things you won't realize unless you participate!  
Don't miss this once-in-a-lifetime opportunity to gain  
valuable experience during your student life.  
Join us now!



## 2025 Project Schedule

### A Disaster Communication Tool for Foreign Residents Development of the "BOSAI Communication Card" and Phase-Free Utilization Project

Kickoff Online Meeting	<p>【Time】 June 7, 2025 (Sat) 14 : 00 ~ 15 : 00</p> <p>【Venue】 Online (Zoom)</p> <p>【Theme】 Self-introductions &amp; Project Overview</p>
Workshop 1	<p>【Time】 July 6, 2025 (Sun) 9 : 30 ~ 12 : 30</p> <p>【Venue】 Hyogo International House Nadacom Station</p> <p>【Theme】 Understanding the Nankai Trough Earthquake</p>
Workshop 2	<p>【Time】 September 13, 2025 (Sat) 9 : 30 ~ 12 : 30</p> <p>【Venue】 Hyogo International House Nadacom Station</p> <p>【Theme】 Thinking About Life-Saving and Language</p>
Prototype Trial	<p>【Time】 September 20, 2025 (Sat) 10 : 00 ~ 13 : 00 ※Other opportunities are under consideration</p> <p>【Venue】 HAT KOBE</p> <p>【Theme】 Trying at Community Disaster Drills and Events</p>
Workshop 3	<p>【Time】 February 15, 2026 (Sun) 9 : 30 ~ 12 : 30 ※"It could last all day"</p> <p>【Place】 Hyogo International House Nadacom Station</p> <p>【Theme】 Refining &amp; Improving the BOSAI Communication Card"</p>



※The schedule may change depending on coordination with partner organizations

## Q&A



Q1.Can I join even if I don't have disaster preparedness knowledge ?

A1.Yes! Let's learn together through this project.

Q2.Can I balance this with classes, job hunting, club activities, or part-time work?

A2.es! If you miss a meeting, we'll share updates so we can support each other

Q3.I'm not confident in my language skills.

A3.This project is about improving communication among people who speak different languages.Let's work together to create a multilingual solution.

If you have any questions or concerns, feel free to contact us!



(独) 国際協力機構関西センター  
(一社) 大学コンソーシアムひょうご神戸  
(公財) 兵庫県国際交流協会

## 三機関連携協定

2024 年度  
報 告 書

(案)

# 目 次

I. 2024 年度事業報告書	1
II. 国際協力機構関西センター、 大学コンソーシアムひょうご 神戸、兵庫県国際交流協会及 び日本貿易振興機構神戸貿易 情報センターによる連携と協 力に関する協定（案）	7
III. 2025 年度事業報告書（案）	9

# I. 三機関連携協定 2024年度 事業報告書

## 1 連携事業

2024年3月29日に、JICA 関西センター、HIA、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸間で「連携と協力に関する協定」（以下「三者連携」）を締結した。同協定は、3機関の専門性や資源を生かして協働することで、将来に向けた地域の課題の解決や多文化共生社会づくり、兵庫県と世界の交流の拡大に寄与することを目的とし、県内の大学生等を中心とする若者の国際貢献、グローバル社会への挑戦を促進するべく連携と協力を図ることとしている。協定に基づき以下の事業を実施した。

### (1) リレー式インターンシップの共催（3機関+JETRO 神戸）

- ① テーマ・共通課題：大阪・関西万博と世界を繋げよ
- ② 参加人数：日本人学生3名+留学生3名
- ③ 趣旨：国際協力・交流機関の仕事内容・取り組みを知ってもらい、将来のキャリア形成を支援する、日本人学生と留学生の協働により留学生就業企業で活躍できるスキルを養成する等。
- ④ プログラム

8月21日（水）、9月3日（火）大学コンソーシアムひょうご神戸  
課題①リレーインターンシップを経て、JICA 秋祭りで何を出展するか



課題②「他国籍メンバーが最大の効果を生むためのトリセツ!？」の作成  
8月22日（木）、8月23日（金）JETRO 神戸  
課題①海外からビジネスで万博に人を呼ぶためには？  
課題②海外からビジネスで万博に来た人を兵庫県に迂回させるには？



8月27日（火）、8月28日（水） JICA 関西

課題①SDGs 達成のために、自分自身に何ができるか

課題②JICA の SDGs 達成への取り組みを万博を契機にどのように PR して  
いくことができるのか



9月2日（月） HIA

課題：「ひょうごフィールドパビリオン」を世界に向けて発信するには？



⑤ JICA 関西秋祭り（10月26日（土））ブースにて展示発表

「日本人大学生×外国人留学生在が考えた、兵庫流?! 関西万博の盛り上げ方」  
モンゴル、ネパール、中国、日本などの食べ物や遊びと一緒に楽しもう♪



## ⑥成果発表会

日時：2024年11月18日(月) 10時～11時

会場：HIA ギャラリー南

参加者：インターン生3名（日本人学生2名＋留学生1名）

(JICA) 開発大学院連携課 鍛冶澤課長、箸主任調査役  
市民参加協力課 三宅課長補佐

(大学コンソ) 山崎事務局長

国際交流チーム 鈴木次長、市川職員

(HIA) 長野事業推進部長、永田事業推進部次長兼交流・協力課長  
後藤課長補佐、押川職員、真井職員

(JETRO 神戸) 長田係長



## (2) 国際協力入門セミナーの共催

例年、(公財)兵庫県国際交流協会(HIA)、(独)国際協力機構(JICA)関西センターが共催し、「開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促す」ことを目的に年に数回開催していたが、今年度から3機関連携協定の事業として大学コンソーシアムひょうご神戸を加えた3者で実施することになった。

### ① 2024年度第国際協力入門セミナー

「自分流で世界と繋がる～いつでも、だれでも、どこでも～」

今年度は、大学生・大学院生など若年層を対象とし、国際協力に一步を踏み出すきっかけを提供することを目的としたセミナーを2回連続で開催した。

#### 【第1回】

日時:2024年9月27日(金) 19:00～20:30

場所:オンライン(運営管理場所:JICA 関西)

メイン運営管理:大学コンソーシアムひょうご神戸(鈴木次長)、

HIA(真井職員、押川職員)、JICA 関西(三宅課長補佐、DNP)

参加者:参加人数100人※瞬間最大参加者数とは異なる

(参考) 申込人数:108人



- 内容:司会 (一社) 大学コンソーシアムひょうご神戸 鈴木次長  
 ア 開会挨拶 (5分) HIA 城 友美子理事長  
 イ パネラー3名によるプレゼンテーション (30分)  
 (ア) 今、どのように世界と繋がっているか。  
 (イ) 今の仕事/活動のきっかけは?  
 (ウ) 今の仕事/活動のおもしろさ、難しさ、想いは?  
 パネラー: 島村 優希氏 (大阪大学人間科学研究科修士1年生/NPO 法人  
 CODE 学生スタッフ)  
 篠原 典子氏 (HIA 日本語教育総括コーディネーター)  
 三浦 眞暉氏 (JICA 関西センター 開発大学院連携課 職員)  
 ウ パネルディスカッション ②の話を深掘りする (35分)  
 エ 質疑応答 (20分)



## 【第2回】

- 日時:2024年10月26日(土) 14:00~15:35  
 場所:JICA 関西 (神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)  
 メイン運営管理:大学コンソーシアムひょうご神戸 (鈴木次長)、  
 HIA (後藤課長補佐、真井職員、押川職員)、  
 JICA 関西 (三宅課長補佐、DNP)  
 参加者:参加人数35人 (参考) 申込人数:46人

- 内容:司会 JICA 関西 三宅課長補佐  
 ア 司会者よりセミナー主旨、第1回振り返り (10分)  
 イ 学生国際協力団体 CHISE (チーズ) 活動紹介 (10分)  
 ウ CLUB GEORDIE (クラブジョーディ) 活動紹介 (10分)  
 エ グループディスカッション (30分)  
 ・ミッション1:もっと日本のことを知りたい!  
 ・リソースパーソン 三浦 眞暉 (JICA 関西 開発大学院連携課)  
 ・ミッション2:地域社会の入り口「日本語教室」を盛り上げよう!  
 ・リソースパーソン 小林 麻紀子氏 (当協会 日本語教育推進員)  
 ・ミッション3:ラオスの農村部に住む子どもたち教育環境改善について考える

- リソースパーソン 学生国際協力団体 CHISE (チーズ)  
ミッション4:「語学ができないと・・・」というイメージを変える!  
リソースパーソン CLUB GEORDIE (クラブジョーディ)  
オ 「今日から自分でできること」を紙に書き、グループで発表 (10分)  
カ 司会者よりまとめ (5分)



大学コンソーシアムひょうご神戸と連携したことにより、参加者は中学生～大学生までの若年層が大半を占め、実施後のアンケートもおおむね好評で、何か始めてみたいという意見もいただき、このセミナーを実施した目標が達成されたかと思う。

### (3) JICA 関西秋祭りでのブース出展、イベントの実施

2024年10月26日(土)実施のJICA 関西秋祭りにおいて、HIA ブースと大学コンソーシアムのブースを出展し、各団体の概要と取組を紹介した。秋祭りのプログラムの一つとして国際協力入門セミナー第2回目を共催。また、HIA と土日基金が共催でトルコ合唱団のコンサートを実施した。



### (4) イベント協力

JICA 関西秋祭りの同日夕方から兵庫県国際交流会館にて、留学生寮イベント「味と音の広場」(大学コンソーシアムひょうご神戸主催)を実施し、秋祭り参加者やJICA 留学生がそのまま留学生会館へ流れるようにした。

### (5) セミナー・その他協力

・神戸市、兵庫県主催、大学コンソーシアムひょうご神戸・HIA 等が共催する留学生向け合同企業説明会にJICA 留学生と大学コンソーシアムひょうご神戸学生が参加。

2024年6月19日

【第一部】9:00～11:30 兵庫国際交流会館 ナダコムステーション

『一緒に就活を頑張ろう！留学生と日本人学生と一緒に学ぶ！

合同企業説明会で役に立つ日本語講座』

【第二部】13:30～16:30 神戸サンボーホール

『Let's GO-SETSU!』

- ・JICA 主催の国際協力の仕事に興味のある学生向けのキャリアセミナーへの協力（大学コンソーシアムひょうご神戸）。

2025年2月7日 15:00～18:00 兵庫国際交流会館 ナダコムステーション

『キャリアセミナー&座談会 国際協力業界で働く INひょうご・神戸』

## 2 広報協力

各機関主催のイベント・セミナーを3機関の各広報媒体で随時広報周知協力を行った。

（例）JICA 秋祭り、国際入門セミナー、難民セミナー、

## II. 国際協力機構関西センター、大学コンソーシアムひょうご神戸 兵庫県国際交流協会及び日本貿易振興機構神戸貿易情報センター による連携と協力に関する協定（案）

独立行政法人国際協力機構関西センター、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、公益財団法人兵庫県国際交流協会及び独立行政法人日本貿易振興機構神戸貿易情報センターの4つの機関（以下、「4機関」という。）は、次のとおり連携と協力に関する協定（以下、「本協定」という。）を締結する。

**なお別紙、2024年3月29日付で締結された三者協定は効力を失うものとする。**

（目的）

第1条 本協定は、4機関が相互に緊密な連携・協力関係を築き、それぞれの専門性、資源を生かして協働することで、将来に向けた地域課題の解決や多文化共生社会づくり、兵庫県と世界の交流の拡大に寄与することを目的とする。

（連携・協力分野）

第2条 前条の目的を達成するため、4機関のすべて、またはいずれかの機関が、以下の分野で必要に応じて連携と協力を図る。

- （1）県内の大学生等を中心とする若者の国際貢献、グローバル社会への挑戦の促進
- （2）県内の外国人留学生の地域社会とのつながり・関わり合いの深化と卒業後の県内での長期的な活躍、県内定着の促進
- （3）県民の国際理解と県内の多文化共生社会づくりの促進
- （4）その他、上記に関連する分野

2 前項を実施するにあたり、協議の上、必要に応じて第三者へ参画を求めることができる。

（確認事項）

第3条 4機関は、本協定の締結が、4機関以外の第三者と連携・協力することを妨げるものではないことを確認する。

（費用）

第4条 第2条に係る連携・協用に要する経費は、協議の上、分担する。

（有効期間）

第5条 本協定の有効期間は、締結日から2026年3月31日までとする。

2 前項の有効期間内にかかわらず、解約予定日の1か月前までに書面により、構成する他の4機関へ通知することにより、本協定を解約できるものとする。

3 4機関のいずれからも書面による解約の意思表示がない場合は、次条に定める4機関による連携と協用の実績及び内容の共有を行った上で、本協定は自動的に1年間更新されるものとし、以後も同様とする。

（連携・協用の共有・協定内容の改訂）

第6条 4機関は、協定の有効期間満了前の時点において、同時点までの連携協用の実績及び内容について共有する。

2 当該共有結果に基づき、本協定に改訂が必要であると認められる

場合は、4機関で協議し、合意を図るものとする。

(守秘義務)

第7条 4機関は、第2条第1項の実施に当たって知り得た機密を、当事者の承認を得ないで他に漏らしてはならない。ただし、第2条第2項に定める第三者に対して、同条第1項の目的達成のため、必要最小限の範囲内で情報提供する場合を除く。

2 第2条第2項に定める第三者にも、前項同様の守秘義務を求めるものとする。

(疑義等の決定)

第8条 本協定に定めのない事項又は本協定に関して疑義を生じた事項については、4機関が協議の上、別途定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書4通を作成し、4機関において記名押印の上、各自1通を保管するものとする。

2025年7月1日

独立行政法人国際協力機構 関西センター  
所長 木村 出

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
理事長

公益財団法人兵庫県国際交流協会  
理事長 城 友美子

独立行政法人日本貿易振興機構 神戸貿易情報センター  
所長 手島 恵美

## Ⅲ. 4 機関連携協定

### 2025 年度 事業計画（案）

2025 年度は、引き続き既存事業を中心とした、それぞれの専門性や資源を活かした 4 機関の様々な連携・協力により地域課題の解決に向けた事業展開を行う。

#### 1 事業連携

(1) 国際交流機関 職場体験リレー

時期：8月～9月

場所：各機関

(2) 国際協力入門セミナー

時期：年1回～2回（予定）

場所：県内またはオンライン

(3) JICA 関西秋祭りへの協力、秋祭り内で実施するプログラムの共催・後援

時期：9月20日(土)

場所：JICA 関西

(4) セミナー、イベント、その他協力・後援

時期：随時

#### 2 広報連携

時期：随時

## 令和7年度 四機関連携が可能な事業一覧(案)

団体名：大学コンソーシアムひょうご神戸

事業名	区分	時期	場所	事業主体	内容	連携内容(案)
兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	継続事業 (予定)	通年	コンソ事務局 オンライン 兵庫県内	CUH JASSO受託	兵庫国際交流会館での「大学連携・産官学連携による人材育成」と「国際交流拠点推進」事業 ・留学生対象：日本人（一般・大学生・中高生）との交流、日本文化・防災・キャリア教育 ・日本人対象：グローバルに活躍する日本人学生の育成 ・全対象：多文化共生時代の自己表現と他社理解、リーダーシップ力養成	○年間プロジェクトの内、数プロジェクトでの、企画・運営・広報・費用負担。 ○情報交換、課題共有
大学コンソ加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業	継続事業	通年	コンソ事務局 オンライン 兵庫県内	CUH	各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを開放することにより、学びの場とネットワークの構築の機会を提供。加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる事業。	○年間プロジェクトの内、数プロジェクトでの、企画・運営・広報・費用負担。 ○情報交換、課題共有
外国人留学生採用ワンストップ相談窓口	継続事業	通年	コンソ事務局 オンライン 兵庫県内	CUH 兵庫県受託	留学生の県内就職に係る、留学生、外国人在住者の就職支援、及び企業の採用・定着支援	○窓口の利用促進、広報 ○情報交換、課題共有 ○日本語力向上支援
大学コンソの留学生インターンシッププログラム	継続事業	6月～ 9月	コンソ事務局 オンライン 兵庫県内	CUH	留学生に特化したインターンシップ研修 事前・事後研修、企業との交流会	○インターンシップ受け入れ先企業としてご参画 ○JICA研修生の同プログラムへの参加（要件有）
JETRO・JICA・HIA・CUH リレーインターン	継続事業	6月～ 10月	各機関 オンライン 兵庫県内	JETRO JICA HIA CUH	留学生+日本人ペアでのインターンシップ研修 学生のキャリア形成支援、各機関の採用支援??	○インターンシップ企画&受け入れ先企業としてご参画
全国コンソーシアム協議会	単年度事業	8月 30 31日	神戸学院大学 ポーアイ キャンパス	CUH 全国コンソ	「激変する将来社会を切り拓く新たな人材の育成にむけて～不易流行で考える大学間連携と産官学協働～」をテーマに、学生ステージA・Bで加盟校に在籍する留学生によるパフォーマンスを披露する。	○情報交換、広報協力、課題共有

## 【2025年度 国際交流委員会 事業計画】

○目的 「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。

○委員校  
 (全:26校) 委員長校:兵庫県立大学、副委員長校:神戸市外国語大学  
 委員校:明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施 ・企画チームにおいて学生が主体的に学ぶことによる行動変容や、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、地域や企業へ高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。 ・日本人学生や地域の高校生等の海外機運醸成、留学促進等、グローバル人材の育成が期待される。 ・留学生が地域で活躍することや、外国人への防災教育等の実施を通して、多文化共生社会の地域における拠点となることが期待される。	1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②参加者数2500名以上/5年	参加者数 500名以上/年	9,625 (受託事業収入)
課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進 2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ・各加盟校の強みや特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がることを期待される。 ・加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。	2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進  ①学生海外派遣プログラム ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	①本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上(期間中2回測定) ②プログラム数10件以上/5年	プログラム数 2件/年	50

【2025年度 国際交流委員会 事業計画(案) 事業計画 (⑤取組1)】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)				報告 (3月記載)				
<p>【日本学生支援機構受託事業】                      &lt;兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業&gt;                      (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成                      ・多国籍企画チーム「Team G-Navii」の活動を実施                      ・ファシリテーションやSNS等の研修                      [各講座10～15名程]</p> <p>(2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組                      ①生活の支援                      ア：防災教育の実施                      [年1回以上、30名～100名]                      イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催                      ウ：生活相談や医療相談機関の案内                      ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業                      ア：地域連携プログラム「英語村」                      [年3回以上、各20人～50人]                      イ：大学との連携による共同事業                      [年1回4コマ程度実施、各20名～70名]                      ウ：兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨、                      HHH寮祭(仮)などの実施                      [各年1回、各20～100名]                      ③外国人留学生のキャリアサポート事業                      日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを                      学ぶ機会の提供                      [5回以上開催、各30名～100名]</p> <p>(3)多文化共生社会の実現を推進する事業                      「Nada Global Village(NGV)」の実施                      [年8回以上開催、各20名～300名程度]</p> <p>(4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化                      [毎年6回以上開催]</p>											
達成目標に対する実績											
活動指標に対する実績											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	9,625,000円	支出		収支		支出		収支		
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

【2025年度 国際交流委員会 事業計画(案) 事業計画 (⑤取組2)】加盟校の国際交流プログラムと連携促進

計画 (4月記載)			自己評価 (12月記載)			報告 (3月記載)					
<p>(1)学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学 【ネパール 医療検査コース】 日本と比較して医療施設や保健施設が整っていないネパール。文化的、社会的に全く異なる国を訪問し自らの目で見て体で感じ、帰国後報告会とディスカッションを通して、医療に対する国際感覚を高めることができるプログラム。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり</p> <p>[実施期間] 2025年9月中旬 10日間 (予定) [参加費用] 25-30 万円程度 (22万円:2014年実績)</p> <p>【カナダ 看護コース】 今しかできない経験を。世界を知る、広がる可能性。 ※単位互換プログラム該当 ※参加費用は為替レートによって変動する場合あり</p> <p>[実施期間] 2025年8月9日 (土) ~ 8月20日 (水) [参加費用] 35-45 万円程度 (航空運賃、宿泊費、研修費、食事代、現地での交通費等含む)</p>											
<p>(2)学生海外派遣プログラム 兵庫大学 【Experiential Language &amp; Culture Learning Program in Hawaii】 ハワイパシフィック大学と連携して実施する、語学・異文化体験を中心とした短期研修。 同大学より参加者全員に終了証 (Certificate of Completion) が発行される。 ※単位互換プログラム該当なし</p> <p>[実施時期] 2026年3月1日 (日) ~ 3月10日 (火)</p>											
<p>(3)各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムの加盟校への開放で、以下の効果が期待されるプログラム</p> <p>○自学では得ることができない学びの経験とネットワーク構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がることが期待されるプログラム</p> <p>○加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待されるプログラム</p>											
達成目標に対する実績											
活動指標に対する実績											
自己評価基準：対到達目標※											
自己評価基準：対継続性※											
事業収支	収入	50,000円	支出		収支		支出	収支			
理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)											
※自己評価基準：対到達目標			4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った			※自己評価基準：対継続性			4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき		

## 【2025年度 国際交流委員会 事業予算】

(単位：円)

		予算	各プログラム 予算		委員会 予算 予算額
			【取組1】	【取組2】	
			兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業) 予算額	加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業 予算額	
収入	会費収入	150,000		50,000	100,000
	助成事業収入	0			
	受託事業収入	9,625,000	9,625,000		
	プログラム収入	0			
	雑収入	0			
	戻入金	0			
	計	9,775,000	9,625,000	50,000	100,000
支出	会議費	70,000	50,000		20,000
	旅費交通費	150,000	100,000	20,000	30,000
	通信運搬費	70,000	50,000		20,000
	消耗品費	60,000	60,000		
	新聞図書費	10,000	10,000		
	印刷製本費	30,000		30,000	
	光熱水料費	0			
	賃借料	40,000	40,000		
	保険料	0			
	謝金	1,201,000	1,181,000		20,000
	租税公課	0			
	支払手数料	22,000	22,000		
	諸会費	0			
	委託費	852,000	852,000		
	人件費	7,260,000	7,260,000		
	接待交際費	0			
	支払支援金	0			
	雑費	10,000			10,000
	計	9,775,000	9,625,000	50,000	100,000

収入-支出	0
-------	---

大学コンソーシアムひょうご神戸  
2024年度第5回国際交流委員会 議事要項

メール回付 : 2025年3月19日(水)

回答期日 : 2025年3月25日(火)

委員校 : 兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、  
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星  
女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、  
神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、  
兵庫大学、兵庫大学短期大学部、流通科学大学 (計 27校)

○審議事項

2024 年度国際交流委員会事業報告・決算(案)について

●審議結果

メール審議した結果、これを承認した。

<審議事項に関してのご意見>

BOSAI コミュニケーションカードに関して

防災カードの「避難してください!」の英訳「Please evacuate!」は、少し足りないのでは。this area  
や immediately 等を追加してはどうでしょうか。

上記ご意見は、学生募集の際のチラシに反映いたしました。

以上

## 国際交流からのお知らせ

2025.04.04

### ハワイで学び、成長しよう！体験型語学・異文化体験学習プログラム

兵庫大学留学・国際交流センターとハワイパシフィック大学が共同で企画・運営する、英語と異文化を体験的に学べるプログラムです。ハワイの豊かな自然・文化・歴史を探索しながら、英語スキルを実践的に高めます。

#### ✔ プログラムの目的

実践的な活動を通じた英語力の向上

ハワイの文化・歴史・自然への理解を深める

地域でのボランティア活動を通じた貢献と学び

#### ✔ プログラム日程：

2026年3月1日（日）～3月10日（火）[関西国際空港帰着]

#### ✔ 活動内容（予定）

※内容は現地の状況により変更となる場合があります。

#### ■ 語学&異文化体験

- ・ハワイパシフィック大学での語学・サービスラーニング準備学習
- ・ダウンタウンホノルル歴史探索ツアー
- ・カカアコでの英語体験学習
- ・英語スカベンジャーハント（ワイキキ/チャイナタウン）
- ・フラダンス&レイ作りワークショップ
- ・興味関心に基づいた個別プロジェクト活動

#### ■ 地域貢献&サービス・ラーニング

- ・伝統的なタロイモ畑での農作業体験
- ・環境保全活動（Genki Ballプロジェクトなど）
- ・フードバンクでのボランティア

#### ■ 成果発表&修了証授与

- ・英語でのプレゼンテーション発表
- ・ハワイパシフィック大学より評価・修了証の授与

#### ✔ 募集要項

- ・対象者：大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校に在籍する大学生
- ・英語レベル：CEFR A1～A2（英検準2級～2級程度）
- ・最小催行人数：12名
- ・応募締切：2025年11月28日（金）

#### ✔ お問い合わせ先

兵庫大学 留学・国際交流センター

Email : [cie@hyogo-dai.ac.jp](mailto:cie@hyogo-dai.ac.jp)

#### ✔ 応募（Googleフォーム）

<https://forms.gle/NqjYPsubbtUGRwf6>